

会 議 録	
会議の名称	令和 7 年度第 1 回清須市地域公共交通会議
開催日時	令和 7 年 6 月 3 日（火） 午後 2 時から午後 3 時 5 2 分まで
開催場所	清須市役所北館 2 階 第 1 ・第 2 会議室
議題	1 開会 2 議事 〔報告事項〕 (1) 令和 6 年度コミュニティバスの利用状況の推移について (2) 令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について (3) 令和 7 年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて (4) コミュニティバス累計利用者数 1 0 0 万人達成時の対応について 〔協議事項〕 (1) 令和 6 年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について (2) コミュニティバスのバス停位置及び名称の変更について (3) 第 2 次清須市地域公共交通計画の変更について (4) 令和 7 年度地域公共交通計画別紙の変更について (5) 地域公共交通計画に係る令和 6 年度取組状況の評価について (6) 令和 8 年度地域公共交通計画別紙について 〔討議事項〕 路線変更に伴う道路運送法第 9 条第 4 項に基づく協議について 3 その他 4 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席表 〔会議資料〕 資料 1 令和 6 年度コミュニティバスの利用状況の推移 資料 2 令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果 資料 3 令和 7 年度清須市地域公共交通会議スケジュール 資料 4 コミュニティバス累計利用者数 1 0 0 万人達成時の対応について 資料 5 令和 6 年度清須市地域公共交通会議歳入歳

	出決算 資料 6 コミュニティバスのバス停位置及び名称の変更（案） 参考資料 コミュニティバス停留所の移設等に伴う路線の変更に係る運賃協議（案） 資料 7－1 第 2 次清須市地域公共交通計画の変更（案） 資料 7－2 第 2 次清須市地域公共交通計画 新旧対照表 資料 8－1 令和 7 年度地域公共交通計画別紙の変更（案） 資料 8－2 令和 7 年度地域公共交通計画別紙 新旧対照表 資料 9－1 清須市地域公共交通計画に係る令和 6 年度取組状況の評価（案） 資料 9－2 清須市地域公共交通計画の評価等結果（案） 資料 10－1 地域公共交通確保維持改善事業の概要 資料 10－2 令和 8 年度清須市地域公共交通計画別紙（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数	1 人
出席委員	前田委員、山田委員、林（巖）委員、笠原委員、柴田委員、加藤（榮）委員、鬼頭委員、加藤（博）委員、原田委員（代理）、石屋委員、加藤（純）委員、有田委員、多田委員、小林委員、大島委員、福田委員（代理）、岩田委員、鈴木委員、豊田委員、高井委員（代理）、林（尚）委員
欠席委員	豊田委員
出席者（市）	なし
事務局	（企画政策課） 神野課長、山内課長補佐、秋山副主幹、岩田係長、蜂矢主任、市江主任
会議録署名委員	山田委員、林（巖）委員
1 開会 （岩田係長） ただ今から、令和 7 年度第 1 回清須市地域公共交通会議を開会します。 私は、本日進行を務めさせていただきます、企画政策課の岩田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただき	

たいと存じます。

前田会長、よろしくお願いします。

(前田会長)

本日は、お足元が悪い中、令和7年度第1回清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして、ありがとうございます。

また、日頃、皆様には本会議の運営等に多大なご理解とご協力をいただきまして、改めてお礼を申し上げます。

さて、本日の会議では「令和8年度清須市地域公共交通計画別紙について」が主な議題となります。

今年度からご参画いただく委員の方もおられますが、是非より良い地域公共交通を目指し、有意義な議論ができるよう皆様どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、これで私のあいさつに代えさせていただきます。

(岩田係長)

ありがとうございます。それでは、本日の会議の出席状況について、ご報告します。

はじめに、人事異動等により本会議から新たにご参画いただきます委員の方をご紹介します。

第1号委員の 笠原 布己枝 委員です。

続きまして、第3号委員で国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官の原田光一郎委員です。

なお、原田委員につきましては、本日所用のため、山田様に代理で出席いただいております。

また、第4号委員で愛知県警察本部西枇杷島警察署交通課長の有田優志委員です。

そして、第6号委員で清須市企画部長の岩田喜一委員です。

続きまして、本日の欠席委員のご連絡です。

本日の欠席委員は、第7号委員で東海旅客鉄道株式会社の豊田委員が所用のため欠席となっております。

また、他の公務のため、第5号委員でつばめユニオン委員長の福田委員におかれましては太田様に、第7号委員で、名古屋鉄道株式会社地域連携部交通サービス担当課長の高井委員におかれましては夫馬様に代理でご出席いただいております。

みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、事務局からお願いがございます。

当会議の議事録を作成するため、会議でのご発言にあたっては、次の二点についてご協力をお願いいたします。

まず一点目ですが、ご発言にあたっては、必ず挙手の上、会長の指名を受けてください。

二点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいてからご発言くださいますよう、お願いいたし

ます。

なお、本日机上に配布させていただきました「活発で良い議論ができる会議のために」という冊子について、愛知運輸支局より簡単なお説明があります。よろしくお願いいたします。

(原田委員 (代理))

ただいまご紹介いただきました愛知運輸支局の山田です。

お手元にあります活発でよい議論ができる会議のためにというこちらの資料に基づきまして、ご説明させていただきます。

1 枚おめくりいただきまして、1 ページ上段をご覧くださいまして、いま全国の地域公共交通が大ピンチということで、利用者の減少から路線の縮小・廃止に繋がる可能性が出るということでございまして、その下にグラフでございすけれども、都市部においては、持ちこたえている状況でございすが、地方部になると、75.6%ということで、約 25% 減という、大きく減少している厳しい現状となっております。

その理由としましては、少子高齢化であったりとか、ドライバー不足などがあるんですけど、このような両面から、このような減少が、今全国各地で起こっております。

中央にございますように、地域公共交通は通院や買い物であったりとか、通勤、通学、またその地域を訪れる観光客の移動手段として、まちづくりには欠かせない重要な要素であることは皆さんご承知だと思います。このような地域公共交通を 5 年後 10 年後の将来にわたって、継続的に維持していくために、今どういうことができるのかといったことを、しっかり考えていただきたいと思います。いろんな取り組みを、議論を通じて、地域の会議体としてこの地域公共交通会議があるというふうにご認識いただければと思います。

2 ページの、上段に地域公共交通会議で話し合うことということで、運行について、ルートダイヤ等の見直しであったり、中央にありますのは利用者を増やすために何ができるのか、また一番右側には、地域全体の公共交通として、どういう形で確保維持していくかとかを扱っていくこととなります。

1 ページめくっていただきまして、3 ページ 4 ページのところに、会議の参加者のとその役割ということでございます。

皆様それぞれのお立場でこの会議に参加されておるわけで、例えば住民代表の方でしたら、日頃から感じている課題や困りごとや、公共交通に関する課題や必要な取り組みの提案といった視点でご発言いただければと思います。

1 枚めくっていただきまして、5 ページの公共交通会議に臨むにあたって、今回もそうですけれども、会議の資料というのは事前に送付されますので、資料には、それぞれ目をお通しいただきまして、その上で気になることとか、少しずつ考えていただけると、当日の会議もスムーズに流れていくことができるかと思います。

また 6 ページの下段のところに、学識経験者から「地域公共交通会議」をより良くするポイントということで、2 つ記載がございます。

地域における公共交通の役割や将来を考えて議論しましょうという

ことで、将来の視点を持って考えたり、また、様々な議論の内容につきましましては、新しい取り組みであったりとか、様々な内容を議論する中で、皆様の意見がぶつかり合うこともあるかと思います。そういうときにおいても、お互いに歩み寄って、前向きな議論を作って、最終的な解決策を導き出せるような形で話に進められますといいかと思います。

簡単ではございますが、ご説明は以上です。

(岩田係長)

ありがとうございます。

それでは、ここからの進行は前田会長にお願いいたします。

2 議事〔報告事項〕(1) 令和6年度コミュニティバスの利用状況の推移について (2) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について (3) 令和7年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて (4) コミュニティバス累計利用者数100万人達成時の対応について

(前田会長)

それでは、ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずはじめに、会議録の署名委員を指名したいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、座席の順に山田委員と林委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が4件、協議事項が6件、討議事項が1件です。

まずは次第の順に「報告事項」についての議事を進めます。

次第にある報告事項は一括して扱うこととしますので、まずは該当資料について事務局から説明してください。

(蜂矢主任)

【資料1・2・3を説明】

(市江主任)

【資料4を説明】

(前田会長)

ありがとうございます。

それでは、この報告について、ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

(原田委員(代理))

愛知運輸支局の山田です。ご説明ありがとうございます。

資料1についてですが、オレンジルートのみコロナ前との比較で落ち込んでいるとのことでしたが、理由というか何か想定される要因等は分

析されていますでしょうか。

(蜂矢主任)

企画政策課の蜂矢です。

理由としましては、あしがるバス全体的に頭打ちの傾向があるんですが、1つ考えられますのが、オレンジルートとサクラルート、特に西枇杷島地区から新川地区にかけて重複する部分もあり、オレンジルートは小さい車両を使っておりまして、積み残しによるタクシーの配送になる可能性があるオレンジルートよりも車体が大きく確実に乗ることができるサクラルートの方に少し人が流れているのではないかなというような要因の1つとして推察しているところでございます。

(福田委員 (代理))

つばめユニオン福田の代わり参加させていただきます、太田と申します。

現場の立場として説明させていただきますと、まずブルーが増えた理由としましては、宮重町というバス停があるんですけれども、近くにある工場に通勤されてる方が清洲駅に向けて乗られることが多く見られることがございます。厳しい言い方をさせていただきますと、常連の方が乗られなくなっただけという現状がございます。

あとサクラルートへの振り替えという話もあったんですけど、これ実は、グリーンルートでヨシヅヤまで乗られる方が多いですから、例えば東外町とかでは、3分後にサクラルートが来るのでそれに乗ったほうが早いですよっていう案内しています。それで、グリーンルートは減っていますし、あとタクシー会社の状況に関しましても、かなりタクシーの配車を抑制することができました。

(大島委員)

つばめ自動車の大島です。

ちょっと補足事項で、オレンジルートの現状ですけれども、行きはオレンジに乗るが、帰りはサクラで帰るというお客さんがかなり見えるという話をドライバーから聞いています。

あと、ブルーにつきましては、もう1つ要因でございまして、近くにラウンドワンという施設がありますが、そちらにバスで行かれる方がお見えになって、外国人の方が多いと思うんですけれども増えていると聞いております。

(石屋委員)

愛知県の石屋でございます。

ちょっと資料の見方で発言させていただきたかったんですけれども、資料1についてなんですけれども、タクシー配車状況っていう表があって、これってタクシーの何か指標かなと思ったんですけれども、これはコミュニティバスで、例えば満員とか不測の事態があった場合の配車っていう、そういうような意味合いでしょうか。

あともう1点、利用者が多いバス停の表の中で、例えばヨシヅヤの

21.7%っていう「%」のところが、何に対するパーセントなのかなというところをちょっとわかんなかったので教えていただければと思います。

(蜂矢主任)

企画政策課の蜂矢でございます。

まず1点目のタクシーに関しましては、仰られるとおり、いわゆる積み残しで、バスが満車で乗れなかった場合に配車させていただくタクシーの台数と、人数を記載させていただいたものでございます。

2点目の右側の表内のパーセンテージですけれども、こちらは全体の降車数から見た割合なので、全体で降車数が年間1,000人といたしますと、そのうち217人はヨシヅヤで降りられたというような数字になります。よろしくお願いいたします。

(加藤副会長)

名古屋大学の加藤です。

今日は雨だったんで、歩くのが億劫と感じたので枇杷島駅東口からオレンジルートで来ました。そのときにお客さんがしゃべったのは、サクラがちょっと先に出るから乗り遅れても大丈夫だと。確かにもともとサクラとオレンジは近いルートということなので、他のところから来られた方が市役所に来たときに近いから、もうちょっと離せないのかという方がいて、いやヨシヅヤとか市役所での乗り継ぎを考えているんで、当然できないんですけど、西枇杷島のあたりからヨシヅヤへ本数を自主的に出そうとすると、同じような時間じゃなくてちょっと交互になるようにした方がいいのかもしれないなとずっと思っていたので、そこはちょっと考えた方がいいのかもしれない。

ただ、オレンジとかブルーのさっきの話も出たんですけど、車両が小さいので、それが利用の多い時間に当たっちゃうと配車ばかりしなきゃいけないとかあるので、そこは今だったら近い時間なので、オレンジルートの人も数分待てばサクラが参りますということもできるんだと思います。

あとラウンドワンはちょっと全くノーマークというか、ラウンドワンのシャトルバスは、今見ますと西春駅と稲沢駅からそれぞれ12分となっておりまして、よく高校生とかが使ってると思うんですけど、清須だと宮重町ですよ。そこから徒歩20分、2.5キロあると。高校生だとそのぐらい歩くかもしれないなと。いや、外国人って言ってますよね。なんですけど、どうしてこんなにかかるかっていうと名岐バイパスを渡るところがないんで、思った以上時間がかかるということですが、ここにわざわざ乗り入れる。ここは西春、北名古屋市ですけど、ここにわざわざ乗り入れることを考えるかどうかちょっとわからないんですけど、今言ったように公共交通で行かれる方が多い施設であるんで、ちょっと清須からは行きづらいというふうに思うとちょっと気にはなりました。

あと1つ思ったんですけど、このところ年間8万5千人以上の利用があるということですけど、例えば昨年度8万7,931、これって今ま

での最高ということでもいいですか。

(蜂矢主任)

そうですね。今までの最高の数字になります。

(加藤副会長)

実際100万人って言ってるんですけど、8万くらいだったら、12年ぐらいで行くところが、19年くらいなので、最初は少なかったのですねですけど、最初に比べると相当ボリュームとしては増えてきて、もうさらに増えてくると、10年、11年で100万人から200万人になる、そういうペースで来てるので、さっき中だるみっていうか、これ以上なかなか増えないって言うてはいたんですけど、清須の場合はやっぱり着実に、本当いつも地味だと思うんですけど、路線的にも外にアピールするっていうそういうものではないんですけど、20年近く振り返ると、着実に存在感が出てきたって言えると、改めてそういう感じだったかなと思います。

あとはもうサクラルートがやっぱり大きい車両で走っているので、さっきサクラに乗り遅れたんでオレンジということあったんですけど、やっぱりサクラの方が広いので、乗りやすいからそっちがいいと、ただ今日は雨降ってて遅れましたと言っておられて、僕が聞いてもいないのに教えてくれたんですけど、そういう感じで使う方もよくわかって使われてる方がいるっていうのは本当にありがたいなということを思いますので、先ほどいろんなこういう使い方があるとかっていうのは、ネタとしてすごく大事だから、これからいろいろ案内とかして、路線図だけ見てもわかんないじゃないですか。この停留所だとかいうところに行けるよっていうのももっとアピールするともっと増やしていくことができるかなと思いました。

(前田会長)

他にご意見はありますでしょうか。

ご意見等もないようですので、報告事項については、これで終了します。

2 議事〔協議事項〕(1) 令和6年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について (2) コミュニティバスのバス停位置及び名称の変更について (3) 第2次清須市地域公共交通計画の変更について (4) 令和7年度地域公共交通計画別紙の変更について (5) 地域公共交通計画に係る令和6年度取組状況の評価について (6) 令和8年度地域公共交通計画別紙について

(前田会長)

引き続き、「協議事項」に関する議事に移ります。

まずは次第の順に(1)「令和6年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(蜂矢主任)

【資料 5 を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見、ご質問等がありましたら挙手をお願いします。

なおこの決算につきましては事前に監事の山田委員の方にご確認をいただいておりますので併せてご報告をさせていただきます。

ご質問も無いようですので、本件に関しまして、ご承認いただくということによろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（１）を終わります。

(前田会長)

続きまして、協議事項（２）「コミュニティバスのバス停位置及び名称の変更について」と討議事項「路線変更に伴う道路運送法第 9 条第 4 項に基づく協議について」を併せて議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料 6 を説明】

(前田会長)

それでは、この議題について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(福田委員（代理）)

今回はバス停の変更にしまして、お願いがあるんですけど、実は時刻表が、令和 4 年に変更になって以来、バス停が 2 ヶ所変更になっております。今回分で 3 ヶ所です。

具体的に言いますと今年 4 月の愛知医療学院大学前、旧ゆうあいリハビリクリニック、昨年 7 月、旧清洲保健センターから五条川防災センターが変更されているんですけど、これに関して新たにやはり起終点が変わるということです、時刻表作成の予定とかはございますでしょうか。

(高井委員（代理）)

名古屋鉄道の夫馬でございます。

素朴な疑問なんですけれども事前確認事項ということで、地権者の方、支障なしということでございますけれども、この森眼科さんのこの駐車場に今のダイヤで約 20 分ぐらい停まるかなと思うんですけども、2

0分間ここでバスが止まっていて、この森眼科さんの駐車車両っていうのは出入りが可能なのかどうか教えていただきたいです。

(市江主任)

事務局の市江です。

森眼科さんの駐車場、今この写真を見ると奥の方にガレージみたいなのが見えるかなと思うんですけども、こちらの出入りがたまにあるとあったところで、森眼科さんにも立ち会っていただいて、バスをどこの位置に止めるですとかっていうところを確認して、駐車車両が通れるよう確保しておりますので、そのところは調整済みになっております。

(加藤副会長)

まず正直言うと、この程度のことで運賃協議会をやるのは、無意味だと思っていて、ただでさえ面倒くさいのにこんなことをさせるのかと。全然本質的でなくて、もっと議論することがあると思うんですけど、そんなちょっと移動したぐらいのことで、こんなことをやって、いろんなことを皆さん言いたいことあるかもしれない。そういうことが諮られないんだったら全くこの制度など、要するに公取が、硬直的だということなんですけど、これはもちろんはっきり僕の中でも有り得ない。

あと、今おっしゃった起終点の名前が変わるのは重大なことで、例えば僕なんか地下鉄東山線を使ってるわけですけど、藤が丘とか高畑が変わったらどっち行ったらいいのかってなりますよね。藤が丘は昔「ヶ」だったんですけど、そのぐらいだったらもう視覚的にもあまり変わらない。「ヶ」であっても「が」であってもそう変わらないんで、気づいてない人も多いんですが、今回は西枇杷島会館、以前の西枇杷島の庁舎が西枇杷島会館になって今度はにしび花咲とひらがなになると。となると、視覚的には全然違う行き先なんですよ。

なので僕自身は西枇杷島花咲のほうがいいのではと言っていたのは、以前の西枇杷島庁舎、次が西枇杷島会館、そしたら西枇杷島花咲ならば視覚的に同じなので、安心して行ける。今回ひらがなになるので、見た目は全然違う。てことは先ほど出てきたように、配布の路線図とか時刻表は絶対変えないとまずいことになる、実は西枇杷島花咲の方であれば、変えなくても問題ないとは思いますが、もちろん変えたほうがいいです。ていうことがあるので、でも変えるタイミングではあるので、ここで思い切って西枇杷島をひらがなにして、軽い感じに変えるのは別にそれも1つの方法で、僕なんか保守的だから、変えて西枇杷島行かなくなっちゃいけないとか言われたら困る。よく見たら「にしび」と書いてあるからわかるっていうことでいいんですけど、だとしても、当面は「(旧西枇杷島会館)」と書いておかないと、ちょっと不安になるんじゃないかと。なので、もしこの段階で出すんだったらその小さくでいいので、時刻表とかに旧西枇杷島会館と示された方がいいかなと。1年ぐらい経てば定着してくるので、次の見直しぐらいまではされた方がいいかなと、とにかく名称変わるって特に起終点が変わるっていうのは本当に混乱が起こりやすいので、ちょっとお伝えしておきます。

(鬼頭委員)

今加藤先生がご指摘いただいたとおり、バス停の名前、やはり西枇杷島と漢字で書いて、その上で花咲としないと、前の関連性が無くて混乱状態になってしまうと思うんですね。ひらがなにしてしまうともう全く別のバス停のように受けとめますんで、そこはやはり私はそのまま漢字で入れたほうがいいんじゃないかと思います。以上です。

(岩田委員)

企画部長の岩田です。

西枇杷島っていうのは確かに漢字4文字で表記しますが、西枇杷島地区のいろいろな表記は、にしびさわやかプラザですとか、にしび創造センターですとか、ひらがなのにしびというのも、地域の方からしてみるとかなり定着しているのは間違いないと思います。

今回、西枇杷島花咲（森眼科前）という案も当然あるかと思いますが、西枇杷島花咲（森眼科前）という漢字が9文字並ぶと、西枇杷をひらがなにしたほうが旧西枇杷島町に限らず、ひらがな3文字がかなり定着していると思いますので、そういうことで事務局としては提案をさせていただいたということでございます。

(加藤副会長)

ただ地域の人だけのことを考えていけばいいわけではないですよ。ですのでさっき言った通りですけど、併記された方がいいと思いますよっていうのが僕の意見です。あとは前面に出てくるのは結構前面に出てくるから視覚的に見てるんですよ。漢字を細かく読めないのが、図形的に見ているから大きく変わるってのは、結構不安が大きいので、それにしびって知ってるから、わからないというわけじゃない。そんな見方じゃなくて、バスが来て、バスは動いてるから、しかも近づいてるからそんなしっかり見えないんです。そうすると西枇杷島会館と画数が多い字が並んでるっていうそういう見方で見ているので、それがひらがなで画数少ないやつだと全然違うふうに見えるのが要注意だよということなんで、あんまりそこは僕は深く考えない方がいいと思います。にしびが定着してるかどうか、そういうのじゃなくて、もともとそういうふうに見えてるものが視覚的に変わること自体が、勘違いしやすくなることについて配慮してもらってということが問題です。

(前田会長)

今先生の方から意見がございましたように、そういった解釈とかいろいろあると思いますけれども、また事務局の方で対応していただくということで、今回のバス停の変更については、もうちょっと検討する課題はあるかと思うので、その点を注意していただくということでよろしくお願いします。

それでは、他にご質問もないようでございますので、ここでお諮りします。ただいまのいろいろご意見を踏まえる中で、事務局には一度検討していただくことを前提に、基本的にはご承認いただけるということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（２）を終わります。

（前田会長）

続きまして、協議事項（３）「第２次清須市地域公共交通計画の変更について」と協議事項（４）「令和７年度地域公共交通計画別紙の変更について」は、先ほどの議題を受けて、関連する計画を変更するものとなりますので、一括して議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

（市江主任）

【資料７、８を説明】

（前田会長）

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

（福田委員（代理））

つばめユニオンの太田です。

先ほど質問と重複しますが、この資料のとおり路線図と時刻表の更新っていうのを明記しているということは、これは発行していただけるということでしょうか。

（市江主任）

こちらは皆様とかにお配りしてる時刻表とか路線図ではなく、運輸支局の方に運行計画として提出している路線図、時刻表になりますので実際はエクセルで作成された路線図と時刻表になります。

ただ先ほどご指摘がありました名称変更に伴い混乱等も生じる可能性がございますので、そちらの時刻表ルートマップの更新につきましては１度検討させていただきたいと思います。

（前田会長）

他によろしいでしょうか。

他にご質問もないようなので、ここでお諮りします。

本件に関しまして、ご承認いただくということでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（３）と（４）を終わります。

（前田会長）

続きまして、協議事項（５）「地域公共交通計画に係る令和６年度取組状況の評価について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

（蜂矢主任）

【資料９を説明】

（前田会長）

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

（高井委員（代理））

名古屋鉄道の夫馬でございます。よろしくお願いいたします。

あしがるバスの利用実績とかご報告がございましたけども、弊社も今年度初めての会議ということでございますので、昨年度の弊社の状況を簡単にご説明させていただきたいと思います。この清須市の中に弊社の駅としましては７駅ございます。いずれもですね、前年比、令和５年度と比較をしましてすべての１００％を超えているという状況でございます。

またコロナ前と比較いたしまして、全線でいきますと実はまだ９５％もいってない状況でございますけれども、この清須市の７駅に関しましては９５％上回っているという状況で、全体の弊社の全線２７６駅全体の伸び率よりも伸び率というか回復度合いよりも清須の方が回復が見込まれるというところでございます。

引き続き少しでもこの清須市の方にお客様が来るような形でですね、３月８日９日にハイキングをやりましたけども、そういったイベントだとか、名古屋本線の三角地がありますけど、その三角地で以前ブルーライナー、ミュースカイの車両をですね止めて、イベントをやったりとか、という形で何とか清須市に少しでも賑わいが戻るよう、あるいはもっと活発になるように、弊社としても努力をして参りたいと思います。

（原田委員（代理））

愛知運輸支局の山田でございます。

資料９－１の④のところにコミュニティバス乗り方教室ということで、この乗り方教室って毎年２回っていう予定で、清須市内の全エリアを２回に分けてやるような、それぞれの住民の地区っていうところを、隔年ぐらいでやってるのか、そこら辺その全域の方々にうまいこと回ってるのかちょっとよくわからなかったんで、どんな感じでこの乗り方教室を地域内で実施されるのか教えていただければと思います。

（蜂矢主任）

企画政策課の蜂矢です。

この乗り方教室ですが、小学生を対象にした教室でございまして、清須市内に８小学校ございますけれども、そのうち毎年２校ずつも持ち回りのような形で実施しておりまして、４年間で１周するという計画で現

在のところに行っているところでございます。以上でございます。

(山田委員)

山田です。

山田です。

乗り方教室は小学生ということですが、以前、老人・高齢者にもそういうことをして欲しいというような発言をしたつもりなんですが、今でも、お年寄りの乗り方がわからん。乗ったら100円出せばいいのとか、どこどこまでと言わないかんよというようなことも言ってるんですけど、本当小学生だけでいいのという疑問があります。

高齢者にもぜひやってくださいとお願いしております。

あと、サイクル事業が、292名増えたよという喜びのような感じなんですが、これは、平日なしに土日の人数なんですかね。

私は、土日ぐらいに本当に市内観光をして欲しいければ、土日だけどこから市内観光バスを出すよというようなことも考えた方がいいと思うんです。自転車だってどんどん走られると、逆に歩道もないところも走られますしね。私はどうかと思うんですが、是非とも土日に清須へ行くと、観光バスが発着するよというような、工夫をしたらどうかなと思います。

(福田委員(代理))

太田です。

2番の一番上、市の財政負担額ですが、これは増えているっていうことは、この係数いわゆる我々バスにおいて100円を稼ぐに幾ら経費がかかりますっていう係数があるんですけど、これ市の財政負担額が増えているっていうことは係数が上がっているということでよろしいのでしょうか。

(蜂矢主任)

利用者1人当たりの財政負担額に関して、令和5年度が809円だったものですから、令和6年度に向けてわずかに減ってはおりますけれども、令和6年度の目標としては800円というふうに前年の令和5年が833円というのが目標だったものですから、目標がやや高くなっておりまして、ちょっとそれに及ばなかったという状況になります。

(福田委員(代理))

つまりは利用者が少し横ばいになっているということで、これは経費が上がっているということで判断させていただいてよろしいのでしょうか。

(蜂矢主任)

そうですね。おっしゃる通り実績値809円から805円というわずかな伸びになってしまっておりますので、おっしゃる通りだというふうに認識しております。

(福田委員 (代理))

ありがとうございました。

もう1つちょっと伺わせていただきますけれど、あしがるバス1日無料デー、我々も運行させていただきましたが、オレンジルートが通常の4倍になっているってということで、清洲城に向かう方がオレンジしか、要するに清洲城・市民センターというバス停があるので、清洲城イコールそのオレンジに乗って行くんだなあという認識なるが4倍になっていると思いますので、清洲総合福祉センターの方が近いので、ブルーやサクラに促すっていう活動はされてますでしょうか。

我々これ実際に観光客に聞かれたときも清洲総合福祉センターを案内しております。

以上です。

(蜂矢主任)

そうですね。今おっしゃっていただいたところは、ごもっともかと思いますが、オレンジルートに関しましては、特に伸びが目立つのでこういうふうに記載させておりますけれども、実際にはサクラルートやブルールートの方も平常の2倍程度には伸びている状況ではございます。またおっしゃる通りブルーやサクラルートの総合福祉センターのバス停について清洲城に行くために使えるよというふうにちょっとどれだけ認知されているかというのはわかりませんので、ちょっと事務局の方で対応検討させていただきたいと思います。

以上です。

(市江主任)

すいません。事務局から補足説明させていただきます。

サクラルートやブルールートで総合福祉センターから清洲城へ行くことができるということの周知につきましては、事前に1日無料デーの周知で、市ホームページや広報誌の方で周知させていただいておりますが、そちらの中に最寄りのバス停として、オレンジルートの清洲城・清洲市民センターのバス停もしくはサクラ・ブルーの総合福祉センターという2つのバス停で周知を行い、分散していただくような形で周知しているところでございます。

また同時開催している清洲城信長まつりのチラシの方にも、無料デーの実施の旨と最寄の2つバス停の方を記載させていただきまして、どちらも利用していただくよう促しているところでございます。以上です。

(加藤副会長)

ちょっと聞いてていろいろ思ったんですけど、まず清洲城の総合福祉センターからアプローチすることがあるんで、運転手さんが案内されてるってのは重要だなと感じたんですけど、停留所にその名前がなければ全然遡及しないので、その運転手さんに言われたらそうなっているわけですからね。

例えば卑近な例で言うと、名古屋の地下鉄が駅名を変えたときに、伝馬町が熱田神宮伝馬町に変わったと、あるいは神宮西は熱田神宮西に変

わったと。名古屋の人は神宮は熱田神宮だと思うんですけど、熱田神宮なら熱田神宮と書いたほうがいい。それから伝馬町も、神宮西からとそう変わらない距離ですよ。それから本来南の方から入るんで、神宮西だと北から入るということなんで、そういうことも考慮して熱田神宮伝馬町となったという経緯です。だからそういうふうに観光地で一見の方がおられるところであって、今、路線図をそのまま見れば、オレンジルートでしか清洲城行けないというふうにしか思えない。僕はもうそれこそ停留所の名称を変えるのはいいと思います。

これだと清洲総合福祉センター・清洲城北としたとしても、さっきの西枇杷島花咲より全然間違えないと、後ろに付くだけです。これだったらさっきのにしび花咲なんて絶対行き先の変更ですから、時刻表なんて絶対差し替えないという今までのを絶対配ってはいけません。

と思ったら、今それをやろうとしてるときなんで、ここに、中点清洲城なのか、括弧で清洲城なのかどっちでもいいんですけど、いいタイミングじゃないかと思います。ここでやれば、今そういう案内してるという指摘が非常に重要だと思います。実際現場でそういう利用されてる方に案内することはそこでも別に支障はないから、その方が分散もされるし、本数的にもね、計本数が増えるからいいだろうということになるんだからそういうことも考える必要があると聞いていて思いました。

それから市の財政負担額の話と収支率の話がございましたけど、まず収支率っていうのは、経費に対して運賃がどれだけの割合かっていうことです。100 円に対して 9.3 円しか稼げてないっていうのは、稼げてないっていうか、別にめちゃくちゃ少ないと思わないんですけど、愛知県のコミュニティバスとかこういうぐらいいの数は、珍しくないの、いいんですが、場合によっては 100 円じゃなくて 1000 円出さないと乗れないバスですよと言うのはあと残り 900 円ぐらい払ってということでもあります。そうすると今 900 円って言ったんですけど、さっきの市の財政負担が利用者 1 人当たり 900 円じゃなくて 800 円でしたよね。これなぜかって言ったら、さっき決議した国の方の補助金とかが入っているの、市の負担はちょっと安くなるということなんですね。

なので、実はこの市の財政負担額っていうのと、あしがるバスの収支率っていうのは概念は近いんですけど、収支率は、費用に対してどのくらい運賃が得られたかってことなので、費用はその中に市が負担したのと他の誰かが負担したのと全部入ってるねってなってます。

あと、営業件数の話ありましたよね。我々よく使う営業係数ですが、これ単純でして、収支率の逆数なんで、9.3%の収支率だったら 9.3 分の 100。つまり 1100 とかが営業係数ということなんで、今 JR のローカル線でやらなきゃいかんというやつのだとこのぐらいいの値が一般的に多いという感じになります。だからこれ止めなきゃいけないとそうじゃないですよ。こっちは経費が鉄道に比べてずっと少ないので、それから非常に細かいところを通ってるものなので、全然その JR のお客さんと比べると、或いは JR は民間企業ですから、民間企業がそこまで話しているというのは別の議論ですけど、営業件数っていうので、見たいっておっしゃるのであれば、ちょっと覚えていただいたらと思います。

あとちょっと質問ですけど、バスロケーションシステムが計画通り運

用なんですけど、これってアクセス数は把握されていますか。他のところだと結構アクセス数が載せていることが多いです。

アクセス数が多いということは頼りにしてるっていう方が多いのは間違いないので、アクセス数を教えていただけると、単に運用してるだけだとちょっと、もちろん計画の目標ではそうなってるのでこれでいいんですけど、どのぐらい見られてるかっていうのは、把握してれば教えて欲しいし、把握してなければまた機会をお願いします。

（市江主任）

直近の１年間はちょっとまだ集計できてないのでわからないんですけども、前回がおそらく９月末時点までの１年間の集計ですと、確か１５万アクセスになってましたので、ただこの１５万アクセスもそのページが変わるごとに１カウントとしてカウントされてしまうので、ただ単に１５万回アクセスがあったとは言いがたい数字ではあります。そのあたりが１カウントにならないようにならないか、向こうの技術の方に、１度確認してみたいと思います。

（高井委員（代理））

先ほど加藤副会長の方からもお話がございましたけれども、これはご参考までにとということなんですが、今弊社のグループ会社の岐阜バスがありまして、岐阜バスが岐阜城の近くを通るのですが、実は麓にあるバス停の名前が以前は「岐阜公園・岐阜市歴史歴史博物館」という名前でした。ところが誰がそもそも岐阜市歴史博物館に行くんだと、みんな行きたいのは岐阜城だということで、盛んにいろんな声が実は出てまして、最近に合わせて岐阜城楽市というのもできたので、それに合わせてですね、今回「岐阜公園・岐阜市歴史博物館」というバス停から「岐阜公園・岐阜城」というふうに変えさせていただきました。

やはり皆さんが行きたいのは、見ればもう一目瞭然ということもございますので、ぜひですね私もそういった観点から、やはり私は名古屋鉄道の人間でありながら、清須市民旧西枇杷島町民でございますので、ぜひこの清須市が盛り上がるといったようなことを考えれば、やっぱり清洲城のバス停であれば、そういったところもぜひ検討をいただければありがたいなと思っております。

（前田会長）

委員さんよろしいでしょうかね。

他にご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。

本件に関しましてご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（５）を終わります。

（前田会長）

続きまして、協議事項（６）「令和８年度地域公共交通計画別紙について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

（蜂矢主任）

【資料１０を説明】

（前田会長）

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

（加藤副会長）

収支率って話が出ましたけど、６年度の収支率よりこちらのほうが低いですね。これってどうしてですか。

（蜂矢主任）

企画政策課蜂矢でございます。

こちらが令和６年度の目標値より少なくなっている理由なんですけれども、令和６年度の途中にプロポーザルによりまして、新しく運行事業者の特定に関する契約をさせていただきました。その際に、従前の運行経費よりもいろんな人件費ですとか、燃料代など高くなっているということがありまして、１人当たりにかかる経費がこの８年度以降さらに高くなっていくことが見込まれまして、６年度までと同じ目標値の達成がちょっと困難であると思込まれるものですから、現実的に目標として達成することが可能な範囲で目標を立てさせていただいて、第２次地域公共交通計画を策定させていただいたところでございます。それに倣って記入をさせていただいたという理由になりますので、この数字に関して誤りはないというふうに認識しております。

（加藤副会長）

そんなこと書いてなかったら誰も誤りだと思う。

だからどういうふうにこれを誤りじゃなくて正しいか書いて欲しいんですよ。ここで口頭でおっしゃった意味ないんですよ。書面に書かないと。これさっきの山田さんが高齢者の乗り方教室が必要だと何回もおっしゃっていても、全然伝わっていないことと僕は通じるとは思うんですけど、口頭だとかそういうことではダメで、こうやって書いてあっても今日同じ資料で出てる齟齬があると。なぜそうなるかっていうと契約方針で経費が上がったので、今までよりも経費が高くなったから、以前よりも目標下げざるを得ないとなったと、そういう解説をしなければ、誰もわからないんですよ。そんなことは最初から本来書くべき。大事なことですよ、これ。さっき収支率で議論したじゃないですか。だからそれが言ってたその９.３から、ここでは７.９になったと。前年９.３だったけど経費が上がったから。別に経費が上がるのは、経費が上がってんだらうなって思うのでいいんですけど、前年よりも値が下がったのだったら、決して目標下げたっていうよりは経費が上がるのは必然なので下

げたっていうことを書いてほしい。

だからここで説明してこうですかって言うだけじゃダメなんです。僕に説明したってダメで、これを読む人全員に説明してもらえるように書面にわかりやすいように修正していただきたいです。

（蜂矢主任）

その収支率と、その次のページの財政負担額の数字と通じるところかなと思うんですけども、その下に※で算出方法が書いてありますので、ここの内容はその先生のおっしゃるようなわかりやすい説明になるようにちょっと検討していきたいというふうに考えております。

（加藤副会長）

この説明では全然説明になっていないですよ。

こういう計算してるんだっていう説明でしかないから。こういう計算してんだけど、今年はこういうふうに去年に比べて事情が変わったからっていうそこを説明しないとイケない。ちゃんと人が言ってることに真面目に答えてほしいですね。書いてあるのはわかってるんですよ。その計算の仕方は書いてあるけど、計算の仕方の前提が変わっていることについてわからないでしょと言ってるの。それをちゃんとやってほしいです。そういう結構重大な変更こそ諮るんですよ。それじゃなかったら別にこの議題だって単に国から補助金もらうための書類なんで、これがなければ、ただこれでいいよねってそれだけの話になると思いますので。でもここは重大ですよ。今までの収支率が下がっていると。そしてたらその理由を書いてください。計算方法は書いてあるから、それはもうやってますから。計算の方法が同じなんだこれだけど、ここが変わったから上がったというふうに修正してください。

（蜂矢主任）

こちらの文章の方は、算出根拠、先ほどおっしゃられたように、どうして前年の目標値よりも下回っているのかということがわかるように文面を検討したいと思います。そちらを修正して提出させていただきたいと思います。

（前田会長）

いうことは、ご指摘された箇所に対して明記していく方向で、もう一度そこだけ修正していただいけるのかどうかということです。

このまま承認していいですかって言っても、今のご指摘に関して、事務局がそれ相応の対処をしていただければ、それで了解ということになってくると思いますので、その辺のところ、事務局は了解をしていただければここでお諮りすることができると思うんですけど、そういう方向でよろしいですよ。

（加藤副会長）

今回は気づいたからいいですけど、補助金もらってると基本上がってないといけないので、生産性向上とか言って、本来はこの数値が上がっ

ていくものじゃないと、補助を出さないっていうのが、今の国交省の財政もそうなんですよね。なので、そういうところで大事なところだから、これが下がってるのは、もう昨今のこういうことでこうなりましたと言っておくことが大事なので、変な揚げ足をとられないようにちゃんと書いておくとういと思います。

（前田副会長）

他にご質問ないようですので、ここでお諮りいたします。加藤先生からいただきました指摘事項、これに関しては、明記される方法で記載を修正するということで、ご了解をいただくということでよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題（６）を終わります。

3 その他

（前田会長）

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

慎重にご審議いただきありがとうございます。

ここからは、次第の「3 その他」に移ります。

事務局から報告事項はありますか。

（市江主任）

事務局より 1 点ご報告がございます。

第 2 次清須市地域公共交通計画にもキャッシュレス決済の導入について対応を検討していく旨を記載していたところでございますが、今年の 10 月 1 日よりあしがるバスの全ルートにおいて、PayPay による QR コード決済の導入に向けて調整をしているところでございます。利用方法につきましては車内に QR コードの POP を設置し、それをスマートフォンで読み込むことで、支払いができる形であり、近年多くの自治体のコミュニティバスで導入されているものとなります。

QR コードで決済の導入により、よりあしがるバスが利用しやすい公共交通となるよう努めて参りますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

（前田会長）

最後に、この他のことで、委員の皆様から何かございますか。

では、以後の進行は、事務局へとお返ししたいと思います。

よろしくお願いします。

4 閉会

(岩田係長)

長時間にわたり、お疲れ様でした。

いろいろとご意見をいただいたところですので、事務局の方でも持ち帰って検討をいろいろさしていただきたいと思います。

それでは以上をもちまして、令和 7 年度第 1 回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

なお、この後予定しております運賃料金部会ですけれども、会場の準備がございます。

今 15 時 52 分ですので、ちょっと休憩も挟みまして、5 分後の 57 分から開始とさせていただきますと思います。

引き続きご出席いただきます委員の皆様におかれましては、それまでに座席の移動等で済ましていただきたいと思います。

それでは一旦ここで閉めさせていただきますと思います。

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線3214
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 山田 政勝

署名委員 林 巖